



新政会  
田村 勇

### 三セクの見直しについて

**質問** 三セクの滝川振興公社と滝川グリーンズについては、民間委託あるいは売却と、いろいろな話があるが、一般会社の理念のもと民間経営を発揮しないと、赤字が増えると思うが、市の考えを伺う。

**答弁** 経営状況が厳しい滝川振興公社と滝川グリーンズに関して、業務の効率化や借入金金の縮減などを念頭に経営状況を抜本的に見直すとともに、営業の強化も図りながら収入の確保に努め、両社の経営改善については、さまざまな改革を進めていきたいと思います。

### 店舗リノベーション支援事業補助金の有効利用について

**質問** 補助金の使い方が難しく、わかりづらい。1次募集は平成27年5月までだったが、その後の募集状況などについて伺う。

**答弁** 国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援のための交付金に

係る中心市街地にぎわい創出支援事業の一つとして実施し、第1次では、飲食1件と福祉1件の申請があり、11月の2次募集では、飲食2件の申請があり、空き店舗の解消につながりました。申請手続きにあたっては、窓口で事前相談の際に十分説明しています。

### スキーインストラクターの活用について

**質問** 平成25年6月に学校教育局長の決定で地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業が実施された。25年、26年と2年間で終わると聞いているが、継続されるのか伺う。

**答弁** 平成27年度も実施予定でしたが、昨年5月に道の事業見直しにより取りやめるという連絡があり、教育委員会としては、取りやめないよう申し入れをしましたが、残念ながらかなえられませんでした。子どもたちの安全確保や技能の向上の面からも必要であるというところで、滝川スキー協会の皆さんに全面的にご支援をいただいております。今年度もこれまでと同様の方向で実施できるよう調整します。



会派みどり  
山口 清悦

### 地方公会計の整備促進について

**質問** 総務省通知「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」の内容における本市の見解と進捗状況について伺う。また、その中の固定資産台帳の整備についての見解と進捗状況について伺う。

**答弁** 住民や議会、外部に対する財務情報の分かりやすい開示ができること。財政運営や政策形成を行ううえでの基礎資料として、資産・債務管理や予算編成、政策評価などに有効に活用できることの2点を目的として、平成27年度から29年度までの3年間で統一的な基準による地方公会計の整備を促進することとされています。さらに国から無償で標準ソフトウェアの提供があるとされているので、本市もこれにより28年度決算から対応できるよう努力していきたいと考えています。しかし、現在のところ標準ソフトウェアは、まだ提供されておらず、さらに導入す

るために必要なハードウェアやミドルウェアの内容や財源措置についても示されていません。これから動向を注視しつつ対応していきたいと考えています。

また、固定資産台帳の整備の進捗状況につきましては、今までの総務省会計モデル整備と大きく違い、固定資産台帳の整備の仕方、考え方が変わっています。総務省会計モデルでは地方財政状況調査、いわゆる決算統計に基づいて、示されたマニュアルに沿って固定資産台帳の整備を進めています。

**質問** 国の要求する期限までに間違いなく整備できるのか、また業務量の心配はないのか伺う。

**答弁** 基本的には、国の期限に対応するよう努力していきたいと思えます。国のソフトウェアの配布時期によっては、ずれ込む可能性もあります。

台帳の整備ですが、各所管からの情報については、既に財政課で一元化して整理を行っており、新たな業務ということでは量的にはプラスとなっていますが、国のスケジュールに合わせて実施していきたいと考えています。